

研究協力をお願い

昭和医科大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道癌術後の体重減少と胸骨後トンネル上部の胃管横径の相関についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年1月1日から2025年11月28日に昭和医科大学病院 食道がんセンターで食道癌の手術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

食道癌手術における消化管の形態的・機能的変化は栄養状態の悪化を招き、術後体重減少をもたらします。今回我々は食道切除・胸骨後胃管再建を施行された患者さんにおいて術後体重減少が大きい患者群でCT検査における胃管横幅が細い傾向にあることに着目し、これが食道癌術後の体重減少に相関するのかどうかを診療録から検討して、体重減少を予防する対策にならないかを検討することにしました。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録から、

患者さんの背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、現病歴、併用薬）、
臨床検査項目（血液検査データ（血算、生化学、SCC、CEAなどの腫瘍マーカー）、
レントゲン検査、

CT検査所見、

内視鏡検査所見、

治療経過

化学療法、免疫療法、放射線治療に関する詳細（使用薬剤、期間、回数、副作用など）、
手術内容（食道癌根治術、胃瘻造設、食道ステント挿入、食道バイパス手術など）

治療合併症の詳細（好中球減少、縫合不全、肺炎、反回神経麻痺など）、

再発の詳細（再発の有無、再発日、部位、再発後の治療内容）、生命予後など）について 抽出します

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院 食道がんセンター 五藤 哲

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

昭和医科大学病院 食道がんセンター 五藤 哲

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541